

お年寄りを元気にしよう！

- 町内小学生がサンホームふじみ激励訪問 -



ふじみだより

平成二十九年三月一日

第七十一号 社会福祉法人 富士見会



▲ ▼ ふじみデイサービスセンターで、利用者様の前で元気よく発表する児童たち



▲ 10月29日 原小学校合唱団がサンホームふじみで合唱曲を披露。お年寄りからは「響く声だね」「みんな上手だね」と感動した様子で、大きな拍手を送っていました。

ホームページアドレス <http://fujimi-kai.or.jp>

11月25日・29日 / 12月2日
の3日間、時沢小4年生がふじみ
デイサービスセンターを激励訪
問。「お年寄りを元気にしよう！」
を合い言葉に、利用者の皆様と交
流を深めました。

目次

- P2 社会福祉法人制度改革
- P3 恒例行事の紹介
- P4 施設内職員研修会
- P5 サンホームふじみ選択食
介護者ご家族交流会
文芸作品紹介
- P6 温かい心に感謝
お知らせ
編集後記

特集

社会福祉法人制度改革

社会福祉法人の制度が大きく変わります

今社会から期待される

社会福祉法人の役割を果たすために

困っている人を見たら
先ず走り出す。

今日、核家族化や少子高齢化が進む中で、ひきこもりや孤独死、子どもの貧困等といった複雑で多様な生活の悩みを抱え、福祉サービスを必要とする方が増えてきています。社会情勢がめまぐるしく変化する中で、民間事業者による創意工夫を持った質の高い、そして地域に根ざしたサービスが、これから先も求められていくのだと考えています。そのような中で、今社会福祉法人は地域社会に貢献する役割を果たすことが一層求められています。



▲ 議決機関となる評議員会の評議員を選任する評議員選任・解任委員会メンバー

今回改正された社会福祉法では「地域における公益的な取組み」を実施することが社会福祉法人の責務として明確に位置づけられました。これは、本来社会福祉法人であれば理念として有していることであり、法人の種類や規模にかかわらず、全ての社会福祉法人がこれまで以上に主体的に取り組んで行く必要があります。

富士見地域で高齢者の中核拠点施設として、特別養護老人ホームサンホームふじみ、同ふじみのさと、ふじみデイサービスセンターや介護保険の相談にに応じているふじみ居宅介護支援センター、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援プランチふじみを運営している当社会福祉法人富士見会でも、平成29年4月からスタートする「社会福祉法人制度改革」に、左記の通り取組んでまいりますので、お知らせします。

3 財務規律の強化

○ 純資産から事業継続に必要な財産の額を控除し、福祉サービスに再投下可能な財産額「社会福祉充実残額」を明確化

4 地域における公益的な取組を実施する責務

○ 社会福祉事業の主たる担い手として、高い公益性を有する社会福祉法人は、地域社会に積極的に貢献していく。

当富士見会は、四半世紀にわたる富士見地域の大勢の皆様を支えられ、高齢者福祉を担って歩んできました。

2 事業運営の透明性の向上
○ 情報公開の対象範囲の拡大とルールの明確化(閲覧対象書類と閲覧対象者の一般への拡大等)

これからも、困っている人を見たら先ず走り出す。そして、走り出すための体力を持つために、役員一丸となって、社会福祉法人制度改革に取り組んでまいります。次号からは、具体的な取組の内容をお知らせします。

(副施設長 町田記)

みて見て恒例行事

楽しく暮れのお餅つき

ふじみのさと

暮れも押し詰まった28日(水)、ふじみのさとでは、入居者皆様とお餅つきを行いました。

皆様、杵の動きに合わせて「それヨイショ！ヨイショ！」と、威勢の良い掛け声と手拍子で応援して下さいました。途中から入居者皆様も餅つきに参加され、職員の協力のもとに力強く杵を振りおろし、今年を締めくくるかのようについておりました。

皆で汗を流した後は、つき上がったお餅を、あんこ・きな粉など、皆様好みの味で召し上がって頂きました。

住み馴れた地域にある「もう一つの我が家」として、これからも季節毎の行事に取り組み、入居者皆様には季節感を感じて頂けるよう努めてまいります。

(ふじみのさと 布施川記)



▲ 入居者皆様の大きな掛け声に合わせて、餅をつく職員

お屠蘇で新年を寿ぐ

ふじみ第1デイ・第2デイ

酉年となり、仕事初めの4日、6日までの3日間、ふじみ第1デイ、ふじみ第2デイでは新年を寿ぐ行事を行いました。

当日は昼食におせち料理の祝い膳を召し上がっていただきました。午後のレク活動の時間には、お一人おひとりにお屠蘇が振舞われ、利用者皆様一年間の無病息災を祈ると共に記念撮影後、和菓子をお召し上がり頂き、新年を祝いました。

デイサービスセンターでは、利

用者皆様が今年の干支にあやかり元氣にお過ごし頂けるよう、職員一同年神様となり、しっかりお世話させて頂きます。

(ふじみデイ 野寺・桜井記)



▲ 無病息災を願い、お屠蘇を振舞う職員

節分行事で盛り上がる

特養サンホームふじみ

節分の日の2月3日(金)特養サンホームふじみでは、ホールに於いて恒例の節分行事を行いました。

当日午前中は、入居者様と職員でけんちん汁作りに挑戦、入居者皆様は昔を思い出し、上手に里芋をむいたり野菜を切り刻んだりされながら、昔話を花を咲かせていました。できあがったけんちん汁は昼食に召し上がられ、できれば

に皆様は舌鼓を鳴らしていました。

午後になると、サンホームふじみ内には、3匹の鬼が出没。鬼がホールに登場すると入居者様は、鬼を追い払おうと真剣な表情で「鬼はあ外！鬼はあ外！・福はあ内！福はあ内！」と豆まきを楽しまれました。

入居者様のおかげで鬼が退散した後には、魔除けとしてホールでイワシを焼きました。イワシの焼ける匂いのする中、入居者様に焼けたイワシを召し上がっていたらくと誰もが笑顔を見せられ、サンホームに福の神が来たようでした (サンホームふじみ 都丸記)



▲ 職員の仮装による鬼の出没を楽しめる入居者様

入居者・利用者本位の
サービスの実現を目指し
施設内職員研修会

認知症ケアについて

第6回



▲ 講師の説明に真剣に取り組む職員

12月7日(水)介護労働安定センターの木村鈴子先生をお招きして、「認知症ケアとはなに? その人らしさを勝手に決めるな」と題して、第6回施設内職員研修会が行われました。

研修会では、冒頭認知症の基礎知識やケアの原則を振り返りました。そして、自分自身が行っているケアについてグループワークを交えて話し合いを行いました。普段、利用者様と接するとき、自分の思い込みを押しつけてはいないだろうか?と反省させられる場面もありました。

りました。

また、どんな事を大切にしているかについて、「言葉遣いに注意している。意思を尊重して介助者は受け身で接している。」等、色々な意見が上がりました。看護師・介護士とそれぞれ関わり方は違っているのも、利用者様を第一に思っているのは、同じだと言う事を改めて感じました。

認知症と一言で言っても症状は様々ですし、利用者様やご家族も違います。認知症によって起こる症状そのものが、その人すべてを表すものではないということを理解し、専門職として安心できる存在になればいいと思いました。

「認知症だから」と一括りに考えるものではなく、利用者様一人ひとりの事を第一に考え、その方に合わせたケアの方法で接していくかなければいけないと改めて学ぶことが出来ました。

この研修を糧に、利用者様やご家族の意見を尊重し、安心して過ごして頂ける様、日々努力して行きたいと思えます(医務 阿久澤・ふじみのさと 狩野記)

腰痛予防について

第7回



▲ 介護技術に取り組む受講生

《入居者・利用者に合った介護技術を身につけよう》というテーマで、1月25日(水)施設内職員研修会を開催しました。

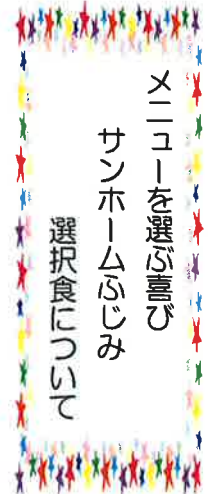
内容は、腰痛予防のために腰痛のメカニズムを知り、正しい姿勢や効果的な身体の動かし方を学ぶ内容で、日頃の介護技術を振り返り、更に腰痛予防となる介護技術を振り返るといったものでした。

この研修は、利用者様によって自分で動くことのできる範囲や機能はそれぞれ異なること。私も含め介護経験の浅い職員や在宅で介護しているご家族には、利用者様の残存機能が把握できずに力任せになってしまいがちになっている事を改めて考える機会となりました。

腰痛を招いてしまう原因は、ストレス・生活習慣・姿勢など様々です。例えば「低い位置にある荷物をもちあげる」といったとき、しゃがまずに前屈みの体勢で物を持ち上げる。この動作だけでも腰に大きな負担がかかってしまいます。

生活習慣を見直し、日常生活での些細な動きでも姿勢を意識することやストレスを発散し溜め込まないようにする。日々の関わりの中で利用者様の残存機能を引きだし、ゆっくりでも自分で出来ることは出来るだけご本人に行ってもらったことで、介護者の腰痛予防に繋げ、入居者様・利用者様により良いケアが提供できるよう取り組んでいきたいと考えます。

(サンホームふじみ 須田記)



メニューを選ぶ喜び サンホームふじみ

選択食について

入居者の皆様にとって、お食事は大きな楽しみのひとつです。サンホームふじみでは月に一度、主食または主菜を2種類の献立からお好みのメニューをお選びいただく「選択食」を定期的に実施しています。

1月29日(日)にスバゲティとパン食の選択食を実施しました。更に、パン食では安全性も考慮し、パン粥と介護食用のやわらかなパンとロールパンの3つの中から、その方の嚥下状態に合った形態を召し上がっていただきました。

このほか、節分や雛祭り、クリスマスといった季節行事にちなんだ季節食、バイキング等と、お誕生日会ではいつも手をかけたお食事を提供し、ご好評を頂いております。

これからも入居者の皆様のご希

望に応じたお食事を、健康状態、嗜好、食事形態等多職種と検討しながら、お一人おひとりにあつたお食事を提供してまいります。

(厨房 田部井記)



入居者の食形態に合わせた選択食

日頃の介護の疲れも 忘れ一日楽しめる

介護者ご家族交流会

12月4日(日)、ふじみ居宅介護支援センター主催の介護者ご家族交流会が、ふじみデイサービスセンターで開催されました。

当日は、日頃介護でご苦労されている14家族、26名の皆様に参加されました。

交流会は、介護者として健康寿命を確認するために用意された健康器具測定に挑戦し、血管年齢・骨密度・体脂肪等を測定しました。

第2部は、「懐かしの昭和歌謡コンサート」。施設職員によるハーモニカ、ギター、篠笛等の生演奏による懐かしの昭和歌謡が披露され、日頃の介護の疲れも忘れ、全員で合唱しながら楽しめました。

昼食は、富士見産食材をふんだんに使用した施設自前の介護食が振舞われ、介護者皆様はグループ毎に介護支援専門員の職員と食事を囲みながら、日頃の介護の悩みや苦労話等ゆやかに話し合いが行われました。

介護者皆様からは、①提供されたお食事は高齢者に食べやすいように工夫されており、家でも調理の参考にしたい。②介護者同士の悩み等話せる機会が持ててよかった。③デイサービスを利用したことがなかったため、施設を見学させて頂いてよかった等多くのご意見が寄せられました。

支援センターでは、当日お寄せ頂いた沢山のご意見・ご要望を参考に、これからも介護者の皆様が

お元気で、日々在宅で生活されている高齢者をしっかりと支えて頂けるよう、支援してまいります。

(支援センター 伊藤記)



笑顔で健康測定に臨む介護者の皆様



盛況だった昭和歌謡コンサート

特養サンホームふじみ入居者様 文芸作品紹介



榊沢 初江様



榊沢とみ子様

温かい心に感謝

皆様の善意に心から
厚くお礼申し上げます。

- 奈良武利様ご家族より
米 90 kg
- 中島いま様ご家族より
ラコール 72個
尿取りパット 180枚
紙オムツ 30枚
おしり拭き 200枚
肌着 1枚
- 榊澤たつ様ご家族より
紙オムツ 26枚
尿取りパット 360枚
紙パンツ 40枚
- 桑嶋新一郎様ご家族より
金 5万円
- 萩原トモ子様ご家族より
バスタオル 30枚
フェイスタオル 50枚
- 榊澤みよ子様ご家族より
人参 12 kg
- 小暮智恵子様ご家族より
尿取りパット 10枚
紙オムツ 17枚
紙パンツ 60枚
- ふじみ赤十字奉仕団様
サニールウオカー 3台
タオルウォーマー 1台
- 田中新一様
千羽鶴
- 古谷きよの様ご家族より
紙オムツ 40枚
- 関口茂野様ご家族より
米 30 kg
里芋 6 kg
- 匿名様
アカザの杖 120本
- 砂川綾子様ご家族より
金 1万円
- 星野ヨシ様ご家族より
カボチャ 9 kg
竹のこいも 10 kg
里芋 9 kg
- 井上浩次様
石鹸 35個
- 小見文江様
じゃがいも 4.5 kg
- 石田英子様
金 1万円



▶ 介護用品の寄贈で来所された
富士見赤十字奉仕団の皆様

お知らせ

◇ 平成29年度

入居ご家族交流会開催

- ・ 4月16日(日)午後1時30分
於 特養サンホームふじみ内
- ・ 対象 サンホームふじみ・ふじ
みのさとの入居ご家族
- ※ 入居者ご家族の皆様には、ご
都合をつけて出席をお願い申し
上げます。

編集後記

ここに皆様の協力を頂き、ふ
じみだより第七十一号を発行するこ
とが出来ました。

ひな祭りも近づいて、冬至の頃
に比べ、日脚(日中の時間)もずい
ぶん伸びてきました。でも、『春は
名のみ風の寒さや』と歌われる
ように、寒さのぶり返して思った
ほど気温が上がらないのがこの季
節です。人が寒さに震えていても、
当施設の庭では、ホトケノザ、白
山タンポポ、アジサイの新芽が、
光の香を告げています。

でも、まだまだ感染症が怖い時
期。手洗い、うがいと十分な睡眠
を心がけ、心とお体をご自愛くだ
さい。(広報委員 大塚記)

ふじみだより 第七十一号

発行日 平成二十九年三月一日

社会福祉法人 富士見会

発行人 星野好孝

〒三七一〇一一五

前橋市富士見町小沢二〇七番地一

Tel 〇二七二一八八八二二